

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課がん対策推進室長 半場 祐子 電話番号 0852-22-6963

事務事業の名称	医療従事者確保対策事業	
目的	(1) 対象	看護師、歯科衛生士及び歯科技工士
	(2) 意図	緩和ケアに精通した看護師の養成、歯科医療に従事する歯科衛生士及び歯科技工士の確保
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアアドバイザー研修の実施（15日程度） ・歯科衛生士の復職支援セミナーの開催 ・歯科医療従事者研修拠点の整備 ・人材確保協議会の開催 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	緩和ケアアドバイザー研修修了者数				
式・定義	緩和ケアアドバイザー研修修了者数	実績値	276.00	289.00	315.00	337.00		
		達成率						%
式・定義	往診・訪問診療を行っている歯科医療機関数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	往診・訪問診療を行っている歯科医療機関数	目標値					173.00	箇所
式・定義	往診・訪問診療を行っている歯科医療機関数	実績値				173.00		
		達成率						%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	8,946	3,192
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・緩和ケアアドバイザー研修の終了者は、過去3年（H24～26年度）で、61名増加している。
- ・がん看護の専門看護師や認定看護師は、H26年度末現在で21人しか養成されていない。
- ・復職支援セミナーを1回開催し、86名の参加があった。
- ・歯科技工士養成校の学生との意見交換会を1回開催し、32名の参加があった。
- ・研修拠点整備に対する支援を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

緩和ケアアドバイザーが増えたことにより、緩和ケアの提供体制の推進につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・各病院の緩和ケア推進のリーダーとなるがん看護専門看護師や認定看護師は不足しており、緩和ケアの体制が不十分。
- ・訪問歯科診療（専門的口腔ケアを含む）ができる歯科衛生士等が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・がん看護専門看護師や認定看護師の養成研修は長期の派遣が必要となるが、各病院にそのような体制がない。
- ・歯科衛生士等について地域偏在があり、地域によっては不足している。

③原因を解消するための「課題」

- ・短期の派遣で緩和ケアの基礎的技術を習得できる緩和ケアアドバイザーを増やし、がん看護の専門看護師や認定看護師の不足を補うことが必要。
- ・養成所の学生や離職中の有資格者などに対し、地域での歯科医療の重要性について認識を高めていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・各病院での緩和ケアアドバイザーの有効活用等について、拠点病院看護管理者会議等で紹介し、積極的な受講勧奨を行っていただく。
- ・セミナーや人材確保協議会の継続実施することにより、地域での歯科医療の重要性についての認識を高める啓発を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）